

2025 年度横浜市立大学大学院医学研究科

看護学専攻科目等履修生 出願要項

1 科目等履修生制度概要

この制度は、医学研究科で定めた履修科目のうち1科目又は数科目を選んで履修を希望する者について、学長が医学研究科教授会の選考を経て科目等履修生として入学を許可するものです。

2 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者又は令和7（2025）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条の規定により学士の学位を授与された者又は令和7（2025）年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（昭和28年文部省告示第5号）
- (6) 令和7（2025）年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において15年の課程を修了した者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本専攻において認められた者
- (7) その他本専攻において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国籍の方は上記に加えて、履修期間を通じて在留資格を有し、かつ、日本語能力試験N2相当以上の日本語能力を有している者

3 履修科目等

- (1) 本大学院医学研究科で指定した対象科目（別紙）のうち、10単位以内で履修できます。
- (2) 科目等履修生は、その履修した科目について試験を受けることができ、試験に合格した者には、当該履修科目について所定の単位が与えられ、成績証明書が交付されます。
- (3) 認定された単位は、将来本学医学研究科看護学専攻に4年以内に入学した際には、既に取得した単位として認定されます。

本学大学院医学研究科看護学専攻の修了生で、専門看護師（CNS）資格取得のために対象科目以外の科目の履修を希望する場合は、受講予定前年度の12月までに修了分野の担当教員にご相談ください。（出願できる科目・単位数については、担当教員までご相談ください。）

4 履修期間

前期期間内の授業科目のみ履修する場合	前期の期間中（4月1日～9月21日）
後期期間内の授業科目のみ履修する場合	後期の期間中（9月22日～3月31日）

5 出願手続

入学を希望する方は、次の書類を出願期間内に提出してください。

(1) 提出書類

① 新規出願者

ア 入学願書	本学所定の用紙
イ 履修目的用紙	本学所定の用紙、科目毎に各々記入する。
ウ 写真1枚	縦4センチ×横3センチ ※最近3か月以内に撮影したもの（入学願書に貼付）
エ 健康診断書	本学所定の用紙、医院の診断済のもの（出願日前3か月以内に受診したもの）
オ 卒業証明書	最終出身学校卒業（見込み）証明書 ※看護系出身学校がある場合は、その卒業証明書も提出する。
カ 成績証明書	最終出身学校成績証明書 厳封したもの（開封無効） ※看護系出身学校がある場合は、その成績証明書も提出する。
キ 住民票の写し	「8 入学金及び履修料(1)入学金（2025年度）」の表に該当する方のみ
ク 本人との扶養関係を証明する書類	「8 入学金及び履修料(1)入学金（2025年度）」の表に該当する方のみ
ケ 入学検定料の振替払込受付証明書	検定料9,800円を所定の払込用紙により、ゆうちょ銀行（郵便局）で納入した際に交付される証明書
コ 在留カードの写し	外国籍の方のみ
サ 日本語能力試験成績証明書の写し	外国籍の方のみ
シ 返信用封筒	レターパックライト（お届け先欄に住所・氏名を記入）

② 再出願者（前年度以前に出願履歴のある方）

新規出願者の提出書類と同じです。ただし、オ 卒業証明書、カ 成績証明書、は省略できます。再出願の旨を過去の出願年度とともにお申し出ください。

③ 後期科目追加出願者（前期に科目等履修生として入学しており、後期科目を追加出願する方）

新規出願者の提出書類のア、イ、ウ（入学願書に貼付）のみ。

(2) 入学検定料 9,800円

所定の払込用紙により、最寄りのゆうちょ銀行（郵便局）で検定料を納めてください。
（本学卒業生、横浜市立学校教員、後期科目追加出願者は納入する必要はありません）

(3) 出願対象科目

前期出願期間：前期科目

後期出願期間：後期科目

(4) 出願期間

ア 前期入学

2025 年 1 月 30 日(木)～2 月 4 日(火) ※郵送出願の場合は 2 月 4 日(火) 必着

イ 後期入学

2025 年 6 月 30 日(月)～7 月 3 日(木) ※郵送出願の場合は 7 月 3 日(木) 必着

(5) 出願方法

上記(4)の出願期間内に窓口への提出又は郵送にて出願書類一式を提出してください。

※窓口出願の場合は、窓口受付時間内(平日 8:45～17:00)に提出してください。

※郵送出願の場合は、封筒に「大学院科目等履修生入学願書在中」と朱書きし、簡易書留で郵送(期日内必着)してください。

提出先：〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学 医学教育推進課 学務・教務担当

看護学専攻科目等履修生担当 宛

窓口受付時間：8:45～17:00(土日祝日を除く)

6 選考方法及び合否について

出願者から提出された出願書類について審査を行い、合否を決定します。

なお、合否の結果については本人宛通知し、合格者には入学手続き書類を郵送します。

合否結果通知時期：2025 年 3 月 25 日(火)頃(予定)(前期出願)

(後期出願は別途お知らせします)

7 入学手続

郵送した入学手続書類(入学金・科目等履修料振込依頼書)にて振込手続きをお済ませの上、入学金・科目等履修料振込依頼書のコピーを郵送してください。手続日に入学手続きしないと入学が許可されませんので、ご注意ください。

(1) 手続日

ア 前期入学：2025 年 4 月 2 日(水)～4 月 8 日(火) 必着

イ 後期入学：2025 年 9 月 24 日(水)～9 月 30 日(火) 必着

(2) 郵送先

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学 医学教育推進課 学務・教務担当

看護学専攻科目等履修生担当 宛

8 入学金及び科目等履修料

(1) 入学金(2025 年度)

横浜市内出身者 14,100 円 横浜市外出身者 28,200 円

※横浜市内出身者とは、入学の日の 1 年以上前(前期入学：令和 6(2024)年 4 月 1 日以前、後期入学：令和 6(2024)年 9 月 22 日以前)から、引き続き本人又はその扶養義務者が横浜市内に住所を有する方をいいます。入学金・施設設備費の市内扱いを受ける場合には、出願手続時に次の書類を提示する必要があります。

該当事項	提示書類
本人が居住することによりこれに該当するとき	入学の日の1年以上前（前期入学：令和6（2024）年4月1日以前、後期入学：令和6（2024）年9月22日以前）から横浜市に在住の記載がある、本人の住民票抄本（本籍地記載のないもの）の写しの原本
扶養義務者が居住することによりこれに該当するとき	入学の日の1年以上前（前期入学：令和6（2024）年4月1日以前、後期入学：令和6（2024）年9月22日以前）から横浜市に在住の記載がある、扶養義務者の住民票抄本（本籍地記載のないもの）の写しの原本及び本人との扶養関係を証明する書類（例えば給与支払者の証明、健康保険証等の写し）

上記の扶養義務者とは、直系血族及び兄弟姉妹、又は特別な場合は3親等内の親族で本人の主たる生計を事実上維持している方です。

※ 提示書類は入学手続日より1か月以内の発行日のものをご提示ください。

※ 本学卒業生、横浜市立学校教員、後期科目追加出願者は納入の必要はありません。

※ お支払いいただいた入学金は当該年度のみ有効です。来年度も引き続き履修される場合、改めて入学金をお支払いいただきます。

(2) 科目等履修料（2025年度）

1単位につき14,800円（1科目は2単位です）

※ 本学入学後に科目等履修料が改定された場合は、改定後の科目等履修料が適用されることになります。

※ 専門看護師（CNS）資格取得のために実習科目を履修する場合、実習にかかる費用は自己負担となります。費用については事前相談時にご確認ください。

(3) 入学金及び科目等履修料の納入方法

大学所定の振込依頼書により、最寄りの金融機関で納入してください。

前期科目の科目等履修料については、前期入学手続日までに、後期科目の科目等履修料については、後期入学手続日までに金融機関に納入した振込金受取書のコピーを郵送してください。

（郵送先は「7 入学手続」を参照）

9 履修上の留意事項

(1) 既納の入学検定料及び入学金は返還いたしませんのでご注意ください。

(2) 科目等履修料は、履修科目ごとに納付しなければなりません。

(3) 履修科目の変更は認められません。

(4) 後期入学を希望される方は、後期科目の履修のみで翌年度前期科目の受講はできません。

(5) 科目等履修生には、学生運賃割引証の交付及び学内諸団体への所属、その他正規の学生としての特典はありません。ただし、図書館は利用できます。

(6) 履修期間中に退学しようとする時は、学長あてに退学届けを提出しなければなりません。

また、科目等履修生が本学の秩序を乱すと認められるときは履修許可を取り消すことがあります。

10 お問い合わせ先

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3－9

横浜市立大学 医学教育推進課 学務・教務担当宛

TEL：045-787-2532

E-mail：ycugradkng@yokohama-cu.ac.jp

受付時間は、月～金曜日（平日）、8：45～17：00 です。

また、受付時間は変更することがございますのでご了承ください。

11 出願書類一式の請求方法

角形 2 号の返信用封筒（A 4 用紙が入る封筒に必要送料分の切手（※）を貼付、返信先の住所・氏名を記入）を上記お問い合わせ先までご郵送ください。

なお、こちらに郵送いただく封筒の表書きに朱書きで「2025 年度大学院医学研究科看護学専攻科目等履修生出願書類一式請求」とお書きください。

（※）郵便料金は最新の情報をご確認ください。

〔参考〕2025 年 1 月現在の郵便料金（定形外郵便物（規格内）、50 g まで）140 円

12 その他

講義は、対面又は遠隔授業を予定しています。ご自宅等で遠隔授業を受講する環境をご用意ください。

2025 年度看護学専攻科目等履修生の履修対象科目

共通科目（博士前期課程）

授業科目名	単位数	開講時期	募集人員	出願時期
看護倫理学	2	前期	若干名	前期
看護管理学	2	前期	若干名	前期
看護継続教育学	2	前期	若干名	前期
看護コンサルテーション論	2	後期	若干名	後期
看護政策学	2	後期	若干名	後期
高度実践薬理学	2	後期	若干名	後期

専門科目（博士前期課程）（※）

授業科目名	単位数	開講時期	募集人員	出願時期
看護プロフェッショナル教育学特講Ⅲ	2	後期	若干名	後期

（※）正規学生の履修が無い場合は科目等履修生の受入れを行わない場合があります。専門科目の履修を希望する方（専門看護師（CNS）資格取得のために上記以外の科目の履修を希望する方も含む）は出願前にお問い合わせください。

大学院医学研究科看護学専攻の授業時間は次のとおりです。

1 限目	8 : 50 ~ 10 : 20	2 限目	10 : 30 ~ 12 : 00
3 限目	12 : 50 ~ 14 : 20	4 限目	14 : 30 ~ 16 : 00
5 限目	16 : 10 ~ 17 : 40	6 限目	17 : 50 ~ 19 : 20
7 限目	19 : 30 ~ 21 : 00		

時間割に関しては、医学教育推進課学務・教務担当までお問い合わせください。なお、時間割が決定後、科目によっては一部変更になる場合がありますので予めご了承ください。

〈問い合わせ先〉

〒236-0004

横浜市金沢区福浦 3 - 9

横浜市立大学 医学教育推進課 学務・教務担当 （看護学専攻科目等履修生担当）

TEL : 045-787-2532

E-mail : ycugradkng@yokohama-cu.ac.jp

授業科目の概要

【看護倫理学】

【学年・期】 1年・前期

【講義の概要、目標】

臨床における生命倫理、医療倫理の基本的な概念、法と倫理の理解と、看護専門職として果たすべき専門職倫理とその責任・責務について理解する。さらに、医療の高度化・複雑化の中で生じる様々な道徳的要求に対する臨床倫理のジレンマに対する意思決定に関する考え方、看護の実践家として対策を検討し、実践する能力を養う。

科目の目標

1. 看護専門職と倫理、道徳的要求に対するジレンマについて理解する
2. 医療・看護における倫理的課題を多面的に検討する能力を養う
3. 看護専門職の行う倫理的意思決定に関する考え方を理解する

【看護管理学】

【学年・期】 1年・前期

【講義の概要、目標】

保健・医療・福祉システムの変化に対する看護管理上の課題を明確にし、ケースメソッドを用いて看護管理者、専門看護師として効果的に組織をマネジメントするために必要な知識を学習し、実践能力を養う。

科目の目標

1. 保健・医療・福祉システムの変化と医療政策・医療経営、看護管理上の課題を明確にできる
2. 病院管理学・看護管理学に必要な組織マネジメントに関する知識を得る
3. 人的資源管理におけるキャリア開発・発達、能力評価、職務満足などの考え方を学ぶ
4. ケースメソッドを用い、効果的な組織のマネジメントに何が必要か、考察することができる

【看護継続教育学】

【学年・期】 1年・前期

【科目の概要・目標】

看護基礎教育や看護継続教育と看護専門職の関係性、看護継続教育の現状と課題を学ぶとともに、看護の質的向上を目指した看護職への継続教育の企画・展開・評価ができるよう教授する。

科目の目標

1. 看護基礎教育や看護継続教育と看護専門職の関係性を理解する。
2. 看護継続教育の現状と課題について理解する。
3. 看護継続教育をする上で不可欠な教育計画立案・実施・評価方法について理解する。

【看護コンサルテーション論】

【学年・期】 1年・後期

【科目の概要・目標】

コンサルテーションの定義と理論を学ぶ。その上で、文献検討や事例検討を通じてコンサルテーションの過程とコンサルテーションの実際を学び、コンサルテーションを実践するために必要な能力を養う。

科目の目標

1. コンサルテーションの定義と理論を学ぶ。
2. コンサルテーションを実践するために必要な能力を養う。

【看護政策学】

【学年・期】 1年・後期

【科目の概要・目標】

看護政策の概念、機能ならびに動向と課題を理解するとともに、近未来に求められる政策課題の整理と施策化に向けた基礎的能力を育成する。

科目の目標

1. 看護政策の概念、機能ならびに今日の動向と課題を理解するとともに近未来の政策課題を探究する。
2. 政令指定都市における保健医療福祉政策の動向と課題を理解するとともに施策化に向けた基礎的能力を養う。

【高度実践薬理学】

【学年・期】 1年・後期

【科目の概要・目標】

緊急応急処置、症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤を中心に、薬剤使用の判断、投与後の患者モニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理能力の向上を図るための知識と看護技術を得ることができる。

科目の目標

1. 薬剤の基礎知識（薬物吸収・分布・代謝・排泄機構、作用機序、高齢者・小児・妊婦への応用）が理解できる。
2. 適切な薬剤の情報収集の仕方及び薬剤の安全管理が理解できる。

【看護プロフェッショナル教育学特講Ⅲ】

【学年・期】 1年・後期

【科目の概要・目標】

看護プロフェッショナル教育学において重要な諸理論ならびにアセスメント手法を用いた最新の知見を概観し、研究課題に対するアプローチのための具体的方略について理解を深める。

科目の目標

1. 人間－環境系の理論に立脚したアプローチの視点を理解できる。
2. 看護における教育工学的アプローチの視点を理解できる。
3. 看護プロフェッショナル教育学における多様なアプローチの視点を理解できる。